CSDで「森林パネル」設置を決定

政府が、1994年のITTAを正式受諾

オイスカの「子供の森プロジェクト」791校に

表題写真：シマエサ・レナ川下流の永久土砂地の海岸。規模を計画段階で模索（シンドラ株式会社）の上に見える砂丘の下には、永久土砂に養うよう設けられた

表題写真：シマエサ・レナ川下流の永久土砂地の海岸。規模を計画段階で模索（シンドラ株式会社）の上に見える砂丘の下には、永久土砂に養うよう設けられた
国際林業研究機関紹介

ISME
国際マングロープ生態系協会

本部：沖縄

マングロープの保全と持続的利用を促進

緑の感謝祭で『砂漠化防止パネル展』開催

4月29日、林研の本部である東京都品川区に設けられた緑の感謝祭で、『砂漠化防止パネル展』が開催されました。このイベントでは、砂漠化防止のための取り組みや、林研の活動を紹介するパネルが展示され、多くの来場者が参加しました。

中国で砂漠緑化の記念切手を発行

中国の国鉄は、今年中で100万枚の切手を発行する計画です。この切手は、砂漠化予防のための活動を記念して発行され、多くの人々が購入する見込みです。
プロジェクト追跡

サウジアラビアで植栽試験

砂漠のマングローブ計画

アラビアに続く半島、サウジアラビアで、砂漠地帯への新たな希望が植えられた。特に、サウジアラビアの近郊地域での植栽試験が注目されている。

カルフの川町の植栽試験地

アラビア石油株式会社は、カルフの川町で植栽試験を開始した。この地域は、水不足と高温が問題であるが、マングローブの成長が期待されている。

厚葉マングローブ（ヤマイハードル）

これまでに植えられたマングローブは、石油污濁に耐えられなくなった

清海岸の風景

ヒルギタマシが繁殖し、海が干上がっている

植栽試験の成功

1980年8月に実施された試験の結果、マングローブの成長が期待されている。これにより、サウジアラビアの海岸線は、海面の変動に対応することができるようになる。

植栽試験が成功

1980年8月の試験の結果、マングローブの成長が達成された。これにより、サウジアラビアの海岸線は、海面の変動に対応することができるようになる。
センターの活動

センターのマークト決定

センターのマークト決定

フィボナッチリゾート

その他

リゾート

ファミリーリゾート

情報

基金へのご協力

林業団体

あたかも国際林業協力に参加しませんか
基金へのご援助をお願いいたします。

国際緑化推進センター（特定公益増進法人）の事業は、主として広く国民のみなさん、企業等のご協力によって造成された資金は、平成3年度以降5ヶ年間で15億円を目標としております。なお、この資金を贈与いただく場合、租税の特例措置が適用となります。

（特例措置の内容）
1) 個人が贈与される場合、寄附金額 - 1万円が所得控除となります。（税所得額の22%を限度）
2) 法人の場合、一般寄附金と同額の範囲内において、別枠で損金扱いすることができます。
3) 個人が相続財産を贈与される場合は、相続税の課税価額に算入されません。

寄附金のお申込み先
〒112 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル4階
財団法人 国際緑化推進センター
電話/03-5689-3450

ご送金の方法
下記の銀行口座へのお振込ください。
住友銀行 春日支店 普通口座 0366832
三菱銀行 春日町支店 普通口座 0477245
（財）国際緑化推進センター
理事長 秋山 智英

熱帯林は毎年1540万ヘクタールも減少しています。いま、世界中の人々が力を合わせ、熱帯林の保全と造成に取り組むことが緊急に必要です。

財団法人国際緑化推進センターは、「熱帯林が提供する豊かな効用を未来にわたり持続的に享受していく」との理念のもとに、熱帯林の保全・造成をはじめ国際緑化推進のため次のような事業に取り組んでいます。

● これらの国際林業協力を担う人材の育成と確保
● 海外の森林、林業などでに関する技術・情報の収集・提供
● NGO・民間団体などが行なう国際林業協力活動に対する支援
● 国際緑化に関する普及啓発および国際林業に携わる人たちの交流活動の推進
● 海外での植樹活動についてのご相談、ご協力

これら国際緑化推進センターの事業に、国民の皆様、民間団体、企業などのご協力をお願いしています。